



FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB
藤枝南ロータリークラブ会報

2017-2018年度 R1テーマ
ロータリー:

変化をもたらす



例会：毎週金曜日 小杉苑
藤枝市青木2-35-30 TEL:054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL:054-647-2300
E-mail: club1991@fujieda-rotary.org FAX:054-647-2040

会長：江崎 直利 副会長：飯田 敏之
幹事：桑原 茂 副幹事：漆畑 雄一郎

第1277回

♪ソング... それでこそロータリー...この広い野原いっぱい 通常例会 / 小杉苑
♪ソングリーダー...古川 賢吾君



夜間例会

2013. 6. 23

内藤さん A I すごいじゃん



■ 会長報告

江崎 直利君



電車について二つほどお話しします

昨日は午後4時の約束で上京しました。ゆっくりでよいのでJRのぷらっと旅行ワンデーという企画でチケットを取りました

通常運賃と比べると3割ほど安くなります、65歳から男性はジパングが取れますが、同じくらの割引と判断しました。

帰りはこだまですが二人掛けに座りました。先日の殺傷事件をイメージしてもし自分ならここから犯人を止められるかと考えましたがとても動けそうにありません

ただ消火器は防衛に使えると判断しました。

また在来線の優先席の件ですが、そこに必ず座るとい人がいました。理由を聞けば、まず席を確保しておき本来座るべき方が来たら譲るためだそうです

以前譲って断られた事がありますが、できれば、「譲られたら座りましょう」という表示もしてほしいと思います

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
37/49 75.51%	38/49 77.55%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○飯田君 ○伊藤彰君 ○植田君 ○杉浦君
○杉山君 ○鈴木照君 ○川口君
○佐野芳君 ○佐野裕君 ○樽井君

(2)メイクアップ者

なし

(3)ビジター者

なし

(4)スマイルBOX

結婚記念プレゼントありがとうございます
富澤静雄会員

誕生日プレゼントありがとうございます
年男 がんばります わん
中村博史会員

皆さまこんにちは、我がクラブの事務局員として4年間勤めていただいた藤巻さんと八木さんの代行エレクトーンを演奏して下さった名倉さんが本日を持って退任することになりました。両名とも本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした
桑原 茂幹事

エレクトーン名倉さん、助っ人ありがとうございました。
藤巻さんいろいろめんどろをかけました。
ありがとうございました。
江崎直利会長

■ 会 員 卓 話

内藤博光 会員



これから世界は、どうなるのかな？今迄人間でなきゃ出来なかった

事が、AIの出現とハードウェアの超々高速化、超々微細化に依って、これまでフィクションの世界だった《人間が作り出した機械に、ある種の知能を持たせ、(個々の人間の最大幸福)をもたらす社会システムの構築と運営を、その機械が代替する特異点を越えた時代》に向かって現在世界で覇権を争っている複数の組織が、その持てる、あるいは掻き集められる最大限の資金、人材を投入してNo.1を争っています。そこで我が日本は？(国家の総力を、今そこに投入すべきだと思うのですが?)

数野晴紀 会員

皆様こんにちは、只今ご紹介にあずかりました。数野晴紀です。

4月に入会させていただきました、はや、2ヶ月が経ちますが、まだ、先輩方を前にあたふたしてしまう日々を送っていますが、どうかよろしく願いいたします。

本日は自己紹介ということで、自分の経歴と会社の紹介をさせていただきます。なにぶん口下手ですので面白い話ができないかとは思いますが、よろしく願いいたします。



生まれは1975年(昭和50年)7月26日に兄、姉の次の3人目、末っ子として藤枝市で誕生しました。青島小・中学校に通い小学校ではサッカーを中学校ではサッカーでは芽が出ないことを確信したためテニスをすることにしました。もちろん、テニスでも結果は出なかったのはご承知の通りだと思います。高校は沼津高専に進学いたしました。沼津高専とはどういうところかという5年生の学校で卒業すると短大卒になります。当時は専攻学科が機械・電気・電子・化学の4つしかありませんでしたが今では6つに増えたみたいです。

ここでは再びサッカーを行いました。沼津高専はサッカーが弱かったものの5年生ということもあり、部活は高校1年生と大学2年生までと一緒に練習や試合をするというのは、1年生で入った当時は体格の差がありすぎてよほどの技術がないとカバーしきれないものがありました。現在のJリーグに出た久保君はそう考えると本当にすごいんだなあ実感してしまいます。

当時は高校受験で高専という名前を耳にしたことが全くなかったのですが、ふとしたことからその校名が耳に入り、工作みたいな作業が好きなおことと機械的に専門が学べるということにちょっと興味を持ち受験したというのがきっかけであります。

沼津高専というのが皆さんにとってどういうイメージなのかあまりわかりませんが、おそらく、ロボコンという自前のロボットでいろいろな競技をする大会がNHKで放送されているのを見たことがある人もいられるかもしれません。実際にかかわるのは数人だったのですが、興味を持ったオタクに近い人たちが勉強に没頭してくれていた人たちのおかげで、沼津高専の株は今も高くなっていることに感謝しております。

私が入った当時の話をさせていただきます。あくまでも当時の話で現在はちょっとどうなのかはわからないのですが、沼津高専は最初の2年間は全寮制で、学校の併設された寮に入らされました。寮の中では各階に階長と呼ばれる年上の先輩が階を仕切ります。国立からなのか規律正しい生活をという名目なのか、もちろん朝は朝礼の時間があり、朝のベルが鳴る前に廊下に並び点呼を行い。それは夜も同じように行われ就寝時間というのも決められて強制的に電気も消されていました。私の中で上下関係の仕組みというのを体に植え付けさせられたのは沼津高専でした。そして、毎晩反省会という会が催されて必ず今日反省しなければならないことを一人一個言わなければならないという集まりがあまりました。毎日反省することを探るのが大変で、見つからないときは大体、「先輩に挨拶をするのを忘れた。」とか「部屋のコンセントを抜き忘れた。」などのお決まりのフレーズを言ってその場が終わるといった今ではありえない伝統行事の中寮生活を送っていました。今は立て替えら

れてかなりきれいで部屋割りもどうなっているのかはわかりませんが、当時の寮は築がかなりの年数がたっており、4人一部屋で組まれており、寝る部屋と机がある部屋が廊下を挟んでついになっていて、網走刑務所に旅行に行ったときには檻になっているかいないかで沼津高専とそんな色ないと感じました。

寮には門限があり、夜ばれないように窓から抜け出して、夜間店舗の清掃日払いのバイトをするために迎えの車に乗り込んでお金を稼いでパチンコ・パチスロにつき込むというのが高専生活の日々でした。このころはモーニングというスタイルが流行っていて、朝一番で並んでは、スロットに駆け込み1回転目にあたりを引いてはその一日が決まるといった休日を過ごしていましたが、始めたのが早かったせいで、東京に出たころには自炊するためのお金を確保するために、スロットもやめて、まかないがつくバイト生活に変わっていました。それ以降今もパチンコ・スロットともにやったことはありません。

寮生活はというと階の住人で集めた会費で週刊詩や月刊誌そして夜の教本を買って順番に回して読んでいました。もちろん、4人一部屋ということもあり、監禁された寮生活の夜の教本の使用は大変なものです。ご想像にお任せします。そして、全寮制は女性にも適用されるため、当時は男女の割合は8対2、9対1くらいの割合でした。女子寮に入りてみたいという衝動に駆り立てられる人も少なくはなく、見つかって謹慎になる人も数知れず、この行動は下着を盗むとかではなく、女子寮で見つからないように男子と女子が遊ぶという行為が主だったので警察が呼ばれるということはありませんでした。

3年目からは寮を出ることが可能となり、自宅から通う人、下宿をする人、階長になって下のものにしごきを加えるものと人それぞれでした。自分は4年生から下宿生活を始めましたが、当時の国立というのは、学費や寮生活の費用など家計の面ではかなり親孝行だったみたいです。

そんな5年間の高専生活を送った後は東京の大学に編入し、東京暮らしが始まります。静岡とは違う大都会の生活が始まりました。東京近郊では、10年ほど住んでいましたが、

独り身で遊んでいるときは東京に住んでいたいと思いますが、やっぱり静岡に戻ってきてよかったなと思いました。

いよいよ大学も卒業し就職です。某空調会社に合格し、サブコンとして、大手ゼネコン会社の下で関東中心に空調・衛生の施工管理を行ってきました。現在は静岡に戻ってきて、東京で働くことのごさを改めて感じましたが、会社は新築・リニューアル・原子力という大きい3つの分類に分かれており自分はリニューアルという部門に配属されました。そのころ、現在の六本木ヒルズ等が建てられた六本木再開発が中心行われていた時期で、新築事業の舞台は日夜工期に間に合わせるため関東近隣のどの施工業者もかき集められていた状態でした。私は、文化センターでのボイラーの改修工事や銀座でのブランド店の改修工事、9・11の事件が起きた当時は渋谷の丸井で改修工事を行っておりました。その時渋谷は24時間昼のように明るい街で本当に不夜城だという言葉が当てはまるなど実感しました。今ではどこがブラック企業とか残業時間の問題が取りざたされてたたかれる企業がメディアに取りざたされておりますが、当時は、日中は現場に出て現場で施工管理と部品発注、夜は図面引きといった現場で寝泊まりをする日が続いて作業をしていた記憶があります。特にやっていた施工事例は病院です。ドラマで有名になったs大病院をはじめ結核病院の空調設備をはじめクリーンルームなど病院の医療行為が行われている建物で大改修を行っていました。ゼネコンの下で働いているときはゼネコンの担当がお酒好きだと事務所に高級な日本酒が何本か並び仕事終わりによく付き合っ飲んで飲まれた時期もありました。ゼネコンと・サブコンの関係となると人によってはになりますが、付度できるかが工事がうまくいくかの最大条件になるので人を見る重要性を学んだ気がします。

お時間も来たようなので自己及び会社の紹介をさせていただきました。つまらない話でしたがご清聴ありがとうございました。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
6/15 (金) 第 1277 回	会員卓話	
6/22 (金) 第 1238 回	最終夜間例会	焼津グランドホテル

■ 今週の一言

小山明良君

今年のテーマは「なんだかうれしい」です。何人かの人も言っていましたが、わたしも孫の可愛さにメロメロです。我が家には上が小学校5年生の女の子、下が3歳で今年から幼稚園に通う男の子です。特に3歳の男の子は遠くで私を見つけても「ジージー」と飛んでくる、元気一杯の孫です。近所の親ばかりでなく、同じ年の女の子からも「かわいい」といわれているようです。

その他「なんだかうれしい」事が一杯あります。藤枝東高の人工芝も8年も過ぎ、張り替えることになりました。予算が5,000万円ということで、集まるか心配しましたが、何とか集まり、入札の無事終わりました。ロータリーの皆さんには大口のご寄付を頂き、本当に有難うございました。大変嬉しかったです。

その上、高校総体でサッカー部が11年ぶりに優勝し全国大会出場です。また、ロータリーの会員旅行、足の痛さを心配しながらも久しぶりに妻も参加し大変にお世話になりました。バスの中で親睦委員の若手の3人の気配りに、本当に頭が下がる思いです。これも「なんだかうれしい」です。

「なんだかうれしい」事が一杯ですから、毎日が充実し、幸せです。



■ ソングリーダー

古川賢吾君



■ 今週のこの人



報告者 瀧脇一啓 会員